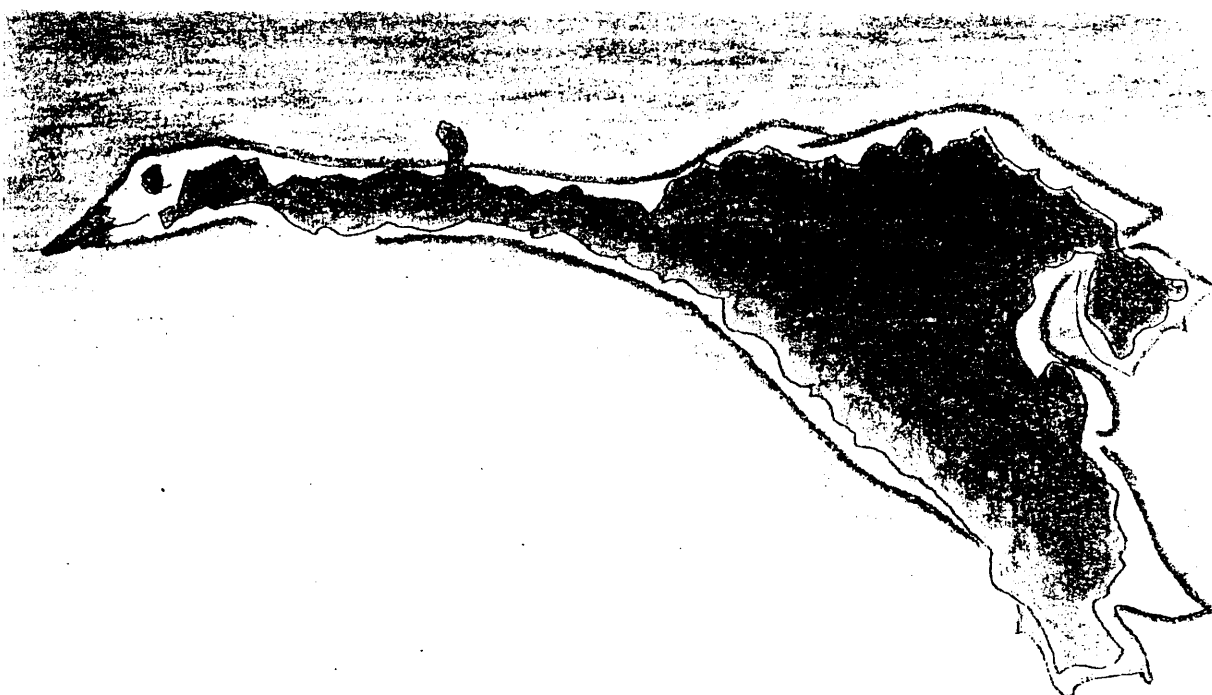


町田市都市計画 マスタープランへの市民提案



Machida Online Forum.

平成10年（1998）10月

町田まちづくり市民会議

はじめに

19世紀から20世紀を通して、日本は、先進国を追いかけ、21世紀に入ろうとして、今、路頭に迷っています。

町田の市民は、自由民権思想の先達を記念館にまつりながら、やっと今、そのほんとうの意味に気づきました。それは、自分たちの町田は自分たちが考え、自分たちの力で作って行くことです。

日本の町が、地球上のいろいろな町から取り残されていっているもの、それは、隣近所のない住宅、電線や広告だらけの道路、いつでも再生すると錯覚している緑です。

地図をひらくと、「多摩丘陵のはばたく市民文化都市」なる姿が、あたかも白鳥のように浮かんできます。が、背景はというと、美しいみどりがかたがた削りとられ、空気がよごれ、水がほそり、市民の元気さまで失われてきているようです。

焦点を町田のあちこちに当てて、くわしく調べてみると、

- ①ゴミの先進都市だったのに、今、あふれる処理に追われ、あらたな汚染もあり
- ②緑のダムが壊されようとしている源流都市
- ③公共交通システムが不足する道路は、拡げても車による渋滞は解消せず
- ④福祉のさきがけだったはずが長つづきせず
- ⑤スローガンだけで中身のないブンカ都市
- ⑥わすれた頃やってくる災害におろおろ
- ⑦二六の市からつづく商業の繁盛や工農の現代化にいきぎれ
- ⑧住環境づくりに美意識がうしなわれ、隣人へのいたわりもない。

市民が協力しあって、自分たちの町田の近景をはっきり描きだす作業がつづきました。老若男女こぞって知恵を出し、金をだし、やっとまとめあげて、さあ、これからは、市民と公僕と事業者が町づくりを始めねばなりません。町田は、殿様や大企業の城下町ではありません。ここに住み仕事をもつ、この三者が未来にむかって子供や後輩のためにも、美しい町並み、澄んだ水と大気、緑したたり花のたえない多摩丘陵をめざし、白鳥が翔んでくるように、この計画を実行に移しましょう！

町田まちづくり市民会議 市民版都市マス検討経過

1997年

- 11月4日 町田まちづくり市民会議準備会（第1回）
・市民会議の発足について
- 11月22日 町田まちづくり市民会議準備会（第2回）
・市民会議の発足について
- 11月25日 **町田まちづくり市民会議発足会**
- 12月11日 町田まちづくり市民会議企画会議
・市民会議の進め方について
- 12月27日 町田まちづくり市民会議企画会議
・市民会議の進め方について
- 12月29日 町田まちづくり市民会議拡大企画会議
・市民会議の進め方について

1998年

- 1月13日 拡大企画会議
・12時間討論会事前打合せ
- 1月15日 「**市民会議まちづくり夜まで12時間
討議会**」（市民ホール会議室）
・環境、交通、教育、文化、福祉、等テーマごとに討論
・大雪のため6時間で打ち切り、次回に残りの6時間討論会実施を確認
- 2月11日 「**市民会議まちづくり6時間討議会**」
（桜美林大学講堂）
・1/15討論会の残りのテーマについて討論。終了後懇親会
- 3月20日 拡大企画会議
・討論会まとめ、今後の進め方について
- 4月4日 企画会議
・總會、今後の進め方について
・コンセプトづくりと具体的提案の検討について
- 4月11日 **総会**（桜美林大学本部棟会議室）
・4グループに分かれて討議
・コンセプトづくりと具体的提案検討の提案
- 5月16日 拡大企画会議
・今後の進め方について
第1グループ会議
・ゴミ問題について、水と緑の問題について
[以降、各グループとも随時グループ会議を開催]
- 5月24日 **全体会議**（市民ホール会議室）
・4グループ検討課題発表と意見交換
- 6月12日 拡大企画会議
・全体会議及び今後の進め方について
- 6月21日 第1グループ会議
・ゴミ問題について、水と緑の問題について
- 7月2日 拡大企画会議
・全体会議及び今後の進め方について
- 7月4日 **全体会議**（生活クラブ生協会議室）
・第1・第2グループ検討課題発表と意見交換
- 7月18日 企画会議
・第1・第2グループ検討課題について整理
講演会「モノレール計画について」（市民ホール会議室）
・多摩地域南北交通の課題を探る
全体会議（市民ホール会議室）
・第3・第4グループ検討課題発表と意見交換
・企画委員会より第1・第2グループ課題整理と検討方向性の提案
・各課題ごとに部会に分かれて検討を進めることを決定する
- 8月1日 企画会議
・第3・第4グループ検討課題について整理
第3・第4グループ会議
・5テーマについての検討課題発表と意見交換
・企画委員会より第3・第4グループ課題整理と検討方向性の提案

- 8月3日
 - ・5部会の発足と各担当者の決定
 - ゴミ部会、水と緑部会、道路・交通部会会議
 - ・コンセプトづくりと具体的提案の検討
 - [以降、市民版の提案に向け随時各部会会議を開催]
- 8月22日
 - 5部会部会会議
 - ・コンセプトづくりと具体的提案の検討
 - [以降、市民版の提案に向け随時各部会会議を開催]
- 8月29日
 - 企画会議
 - ・全体会議及び今後の進め方について
 - 講演会「市民参加の新しい交通システムづくり」(中町第2庁舎会議室)
 - ・ドイツ・フライブルク市のニュータウン計画に学ぶ
 - 全体会議(市民ホール会議室)
 - ・各部会(8部会)発表と意見交換
- 9月6日
 - 拡大企画会議
 - ・市民参加の在り方について
 - ・中間まとめに向けた各部会案まとめの様式の提案
 - ・市民版提案までの進め方について
- 9月14日
 - 拡大企画会議
 - ・全体コンセプトについて
 - ・市民参加の在り方について
- 9月20日
 - 講演会「路面電車(LRT)は都市の未来を拓く」(公民館地下ホール)
 - ・路面電車をテーマにまちづくりを考える
 - 全体会議(市民ホール会議室)
 - ・全体コンセプトについて
 - ・各部会(8部会)案まとめの発表と意見交換
 - ・市民版の中間報告として市へ提案することを確認する。
- 10月1日
 - 拡大企画会議
 - ・「町田市都市計画マスタープランへの市民提案」書について議論
 - ・市民参加の基本理念について
 - ・市民提案の概要版について
 - ・週明けの5日に市民提案書を市へ提出できるように段取りをする。

目次

提案の基本理念	1
ゴミ	2
水と緑	5
道路・交通	10
福祉	14
教育・文化	17
防災	21
産業	25
住環境	27
真の市民参加のあり方を考える（まとめにかえて）	31
参考資料	34

提案の基本理念

「都市計画マスタープランへの市民提案」は、以下の3つの基本理念に基づいてつくられている。

【まちづくりは市民が主人公】

～町田に住み、町田で生活する市民を主体として自主・自立の街づくりを進める～

町田市に居住し生活する市民自身が主体となる街づくりを進めるために、職と住の接近をはかり、各地域に生活文化の拠点を配して市民文化を創造し、市民生活を最重視した自主・自立の都市計画を確立する。

【まちづくりは市民の責任を前提として、事業者・行政とのパートナーシップで】

～市民・事業者・行政がそれぞれ、果たすべき役割とそのルールを確立する～

市民は環境に負荷をかけずに生活を持続していくための、事業者は事業活動を通じて環境改善と社会貢献の、行政は市民の参加を前提とした新たな民主主義と自治のルールを確立する。これらのルールに則って地域コミュニティ活動を活性化し、街づくりのコンセンサス得て、それぞれの立場で具体的行動を展開していく。

【町田のまちづくりで大切にすべきもの】

～町田の財産を守り、未来に向かって創造していく～

数多くの川の源流、北部丘陵のみどり、商都の繁栄、活発な市民活動、優れた市民文化、先進的福祉施策等、今日の町田には大きな財産が引き継がれている。これらの財産を守り、さらに豊かにしていくと共に、防災まちづくり、ユニバーサルデザイン、循環型の社会構築など新たな資産を創造していく。